

やはたの丘

学校だより

文責：山本 康子

2学期が始まりました。

9月に入り、多くの台風が上陸しました。強風や大雨などにより、たくさんの被害をもたらしました。今後も災害に備え、気象情報などに注意すると共に、登下校時において災害に巻き込まれない安全な行動をとることなど、ご家庭の方でも安全確保のため、ご協力をお願いいたします。また悪天候による臨時の措置については、9月12日付文書でお知らせしましたように、緊急のご連絡をする場合もありますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

長い夏休み、規則正しい生活を送ることができたでしょうか。高等部の清掃ボランティアの皆さんは、7月21日から8月5日まで、毎日、穴生市民センター、穴生保育所や鷹の巣幼稚園で、外の草取り、スリッパの掃除や窓ふきなどに、とても頑張っていました。



暑い毎日でも、規則正しい生活を送り、清掃ボランティアを続けることができました。毎日の生活を積み重ねることがとても大切だと思います。2学期には、10月2日の学習発表会など、たくさんの学習活動があります。

- 自分の役割を果たすこと
- チームワークを大切に協力すること を特に大切に自分から進んで取り組んでほしいと思います。

PTAによるクリーン作戦が行われました。

9月23日（金）、PTAの皆さんがクリーン作戦で、校舎の周囲など清掃をして下さいました。体育館の裏まで、窓ガラスをきれいに磨いたり、ごみを拾ったりして、クリーン作戦は大成功でした。学習発表会も大成功だと思います。ありがとうございました。



小学部修学旅行に行ってきました。



<干潟あそび>

お友達への優しさもたくさんみられ、バスが学校に到着するまで、元気いっぱいの皆さんでした。



<どんぐり村の
オーベルジュ>



小学部6年生の皆さんと、1学期から待ちに待った修学旅行に行ってきました。行き先は佐賀方面です。

お天気にも恵まれ、干潟あそび、宇宙科学館の見学、動物との触れ合いなど、多くの体験を楽しく取り組むことができました。初めての修学旅行で、やや不安そうでしたが、6名のお友達が協力したり、初めてのことに挑戦したりする姿に感心しました。

そしゃく食が始まりました。

北九州市教育委員会は、9月より、本校を含む全ての特別支援学校において「そしゃく食」の提供を始めました。そしゃく食は「安全に食べられるように練習をするための食事」です。特徴としては、①前歯でかじり取る練習ができる大きさ、②圧力鍋を使い、噛む練習ができる軟らかさ、③水分をしっかり含む調理形態です。また、ごはんは本校で軟らかく炊いた軟飯となります。三色ごはんや混ぜごはんの日は、具をごはんと一緒に炊飯した炊き込みご飯となります。食パンは、調理士が包丁でかじりとりやすい大きさにカットしたスティックパンとなります。今までの給食調理とは異なり、時間や細かい作業はもちろんですが、安全確認などたくさんの労力が必要となりました。栄養士さんや調理士さんのおかげでスムーズに開始することができました。

またこのスタートにあたって、九州歯科大学の歯科医師と連携し、児童生徒の実態把握を行いました。また、給食室に電磁調理器、圧力鍋や炊飯器等を設置し、試作や試食を重ね、準備を進めていただきました。



<9月13日のそしゃく食>

そしゃく食を食べている児童は「丸飲み込みせず、よく噛むようになった」「食べこぼさず、上手に食べられるようになった」など、確実に成長している姿が見られています。これからも校内や関係機関とも協力して、よりよいそしゃく食提供に努めていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。